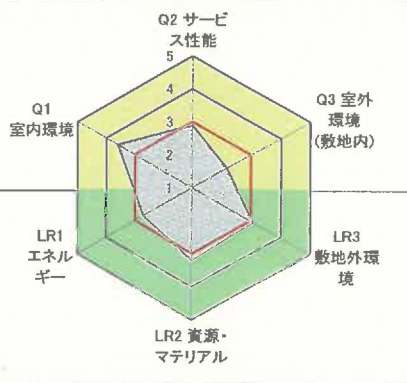
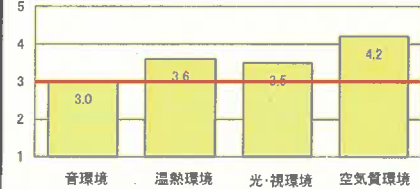
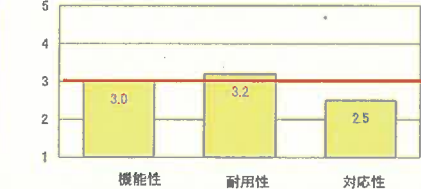
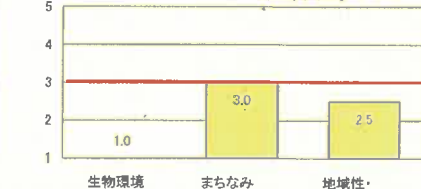
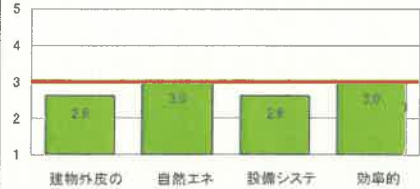
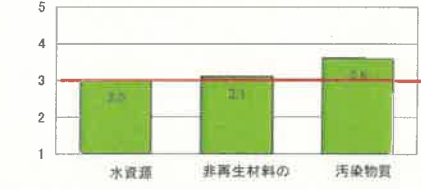
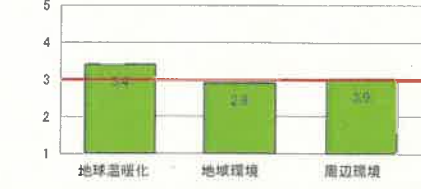


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	(仮称)鳥取駅北口	階数			
建設地	鳥取県鳥取市永楽温泉町152番	構造			地上14F
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員			RC造
地域区分	6地域	年間使用時間			245 人
建物用途	ホテル	評価の段階			8,760 時間/年(想定値)
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日			実施設計段階評価
敷地面積	2,924 m ²	作成者			2022年6月16日
建築面積	368 m ²	確認日	日創アーキテクト 栗野 博之		
延床面積	4,410 m ²	確認者	2022年6月16日		
			日創アーキテクト 鳥井 結		
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)			2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		
BEE = 1.0 ★★★★★ S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★ 			★☆☆☆☆ 		
標準計算			このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです		
①参照値			100%		
②建築物の取組み			89%		
③上記+②以外の			89%		
④上記+			89%		
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)			2-4 中項目の評価(バーチャート)		
			環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.6  Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.9  Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.2 		
LR 環境負荷低減性			LRのスコア= 2.9		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 2.7			LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2		
					
LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1					
3 設計上の配慮事項					
省エネルギーに配慮した設備を採用することでLCCO ₂ の排出量を抑制するなど環境負荷に配慮した計画としている。			その他 特になし		
Q1 室内環境 内装仕上げ材にはF☆☆☆☆を使用することで化学汚染物質による空気汚染を防いでいる。 分煙については共用部禁煙とし喫煙可能な客室を隣で分けることで非喫煙者が煙にさらされないようにしている。			Q2 サービス性能 各客室はカテゴリ5eクラスのブロードバンドの利用を可能としている。 建物の耐用年数を高めるため外壁、主要配管に耐用年数の長い部材を使用している。		
LR1 エネルギー LED照明など、省エネルギー基準をクリアする省エネ設備を採用している。			LR2 資源・マテリアル 環境負荷に配慮した資材を使用した。		
			LR3 敷地外環境 LCCO ₂ の排出量の抑制に配慮している。		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される